



大洲市

No.138 2016年 7月号

社協だより

編集/発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>

大洲市協

検索



地域福祉推進のため 「社協会員制会費制度」にご協力を



「社協会員制会費」は、拠出していただいた方（＝社協会員）がお住まいの地域の地区社会福祉協議会（略して地区社協）に全額還元され、地域の福祉活動や在宅福祉推進活動のために使われています。

市社協・地区社協は、今後も地域の福祉課題を捉え、誰もが安心して住み続けられる地域づくりのため一層努力していきたくと思っています。会員制度設置の趣旨をご理解いただき本年度も会費拠出にご協力をお願い申し上げます。

あわせて、区長さん、組長さんには「集金・納入」についてご迷惑をおかけ致しますが、よろしくお願い申し上げます。

地区社協とは・・・

地区社協一覧	
肱南地区社会福祉協議会	柳沢地区社会福祉協議会
久米地区社会福祉協議会	新谷地区社会福祉協議会
肱北地区社会福祉協議会	三善地区社会福祉協議会
喜多地区社会福祉協議会	八多喜地区社会福祉協議会
平地区社会福祉協議会	上須戒地区社会福祉協議会
平野地区社会福祉協議会	長浜地区社会福祉協議会
南久米地区社会福祉協議会	肱川地区社会福祉協議会
菅田地区社会福祉協議会	河辺地区社会福祉協議会
大川保健福祉協議会	合計 17 地区社協

「住民同士が支え合う地域」を目指して、地域住民自身が福祉の担い手となり様々な活動を展開している任意の団体です。大洲市全体を17地区に分け、その全てに地区社協が設置されています。

＜地区社協の構成＞

会費を納入された地域の皆さんが会員です。その地区の代表として、民生児童委員、在宅福祉推進員、自治会、婦人会、老人クラブ、公共施設関係者、その他地域の様々な団体などを中心に運営されています。様々なネットワーク（連携）を生かして、地域内の福祉問題の把握と解決に向けて、地域福祉活動に取り組む団体です。大洲市社協は地区社協活動に対し、助成や事業費配分等を行い、地域住民グループによる自発的なボランティア活動を支援しています。

＜地区社協の活動とは＞

地域ふれあい事業、独居高齢者のつどい、独居高齢者料理教室、配食サービスなど様々な事業を実施しています。なお、地区社協はそれぞれ独立した団体であり、事業の内容は画一的ではなく地域の実情に合わせて独自に展開しています。また、対象となる方も、高齢者に限らず、子どもたち、障がいを持っておられる方、赤ちゃん子育て中のお母さんほか様々です。

熊本地震に伴う義援金 街頭募金活動実施

平成28年5月22日（日）、オズメッセ・オズグリーン・愛たい菜前において、大洲市ボランティア連絡協議会の呼び掛けによる熊本地震に対する復興支援を目的とした義援金募金活動を行いました。募金してくださったたくさんの方々のまごころにより合計15万431円の義援金を集めることができました。本活動で集まった義援金は、日本赤十字社を通じて被災された方々の救援支援活動及び復興支援活動に役立つよう寄贈させていただきます。

＜募金活動参加団体＞

大洲市ボランティア連絡協議会
大洲市社会福祉協議会



平成28年

熊本地震愛媛県内社協職員
ボランティアバス（報告）

地域福祉係長 小池 真治

震度7を2回も記録した想定外の熊本地震！今回の地震は、熊本県から大分県にかけて広い範囲に被害をもたらした。

私たち、愛媛県内の社協職員20名は、5月7日（土）～9日（月）にかけて、熊本県上益城郡嘉島町の被災地支援を行った。

今回のミッションは、災害ボランティア活動を通して、被災者の早期生活再建の支援と共に、6月に行われるボランティアバス運行の試験的な役割を担っている。



となる。活動内容は、がれき撤去や、家の中の片付け等が中心である。嘉島町災害ボランティアセン

全行程が3日間と少ない中で、往復の移動をあわせる

と1日半かかるので、実質支援が行えるのは残りの1日半と言うこ



ビフォー



アフター

ターでは、独居高齢者・高齢夫婦などの要援護者の方を中心に、ニーズ調査を行いボランティアの派遣を行っていた。

初日の午前中は、101才のAさん（男性）とその息子さんが住む、自宅周りのブロック塀と、瓦の撤去を行った。その家は、地震の影響で傾いており、部屋の中も家具が倒れたりと危険な状態であるにも関わらず、Aさんは、頑として、避難所にはいかず、その家で住まっていた。

家の中がどうであれ、愛着のある家が良いのか、避難所へ行くほうが安全なのかと考えさせられた。（高齢者にとって、慣れない避難所生活は、体調が悪くなることもありうるため。）

午後からは、高齢者夫婦が住まいる家へお伺いし、がれき撤去と家具の移動を行った。その時に、屋根の上にある瓦の撤去を懇願されたが、高所の作業は、専門家に任せると言うルールがあり、お断りをさせて頂

き、ボランティアの限界を改めて感じた。

ある程度片付けを行い、休憩をしていた時に、家主の方と話をする機会があり、「どこでボランティアセンターの事を聞かれたのか」と質問すると、近くの民生委員さんが教えてくれたと言われる。地域の福祉を把握している民生委員さんならではのと思った。少子高齢化が進展する中、地域の民生委員さんや、地域住民のつながりの大切さや連携こそが、非常時に生きてくると思った。今回の災害支援を通して感じることは、地域福祉の向上は、日常のみならず、非日常でも威力を発揮すると言う事だった。

終わりに、熊本地震で亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、重ねて被災された皆様には、一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



立ち上げ当初の災害ボランティアセンター。その後、国連WFP（世界食糧支援機関）の寄付による大型テント（3ページ1段目写真）が設営されました。

平成二十八年度

ワークキャンプ開催の

お知らせ

大洲市内の中学生・高校生を対象としたワークキャンプ（福祉体験学習）事業を今年も左記日程にて開催します。

今年も、大洲市内の福祉・保健施設、児童館の協力を得て、施設でのレクリエーション活動や食事介助などの介護体験を通して、ボランティア体験活動について学びます。

福祉を学ぶことで**今年の夏休み**に新しい何かを見つけてみませんか？たくさんの参加をお待ちしています！

日程 平成二十八年七月十九日（火）

～八月二十日（土）

の期間で協力施設にて二泊三日または三日間の通所で活動

参加対象 市内中学生・高校生

場所 大洲市内の福祉・保健施設
及び大洲市喜多児童館

【お問合せ先】

大洲市社会福祉協議会

地域福祉係

TEL 23-0313

まごころのおくりもの 4月分

金銭の部（一般分）

日本郵政グループ労働組合

南予支部 様 宇和島市
(指定分)

《喜多地区社協へ》

東 キリエ 様 田 口

《平地区社協へ》

津國 巳代子 様 新谷町

《柳沢地区社協へ》

森岡 恵一 様 藤 縄

《新谷地区社協へ》

津國 巳代子 様 新谷町

《上須戒地区社協へ》

水本 福泉 様 上須戒

松岡 広明 様 上須戒

《肱川地区社協へ》

三瀬 健一 様 肱川町

《河辺地区社協へ》

富永 正明 様 植 松

《特別養護老人ホーム

かわかみ荘様へ》

草莽の一蛭 様 大洲市

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

皆様からいただきました芳志につきましては、地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、その他用途についてご指定いただけます。

各地区社協や市社協等において、高齢者や障がい者等の在宅福祉、ボランティア活動など社会福祉活動の財源として、活用させていただいております。



この度、愛媛県社会福祉協議会（以下、「県社協」との協定に基づき、四国ブロック社協では、熊本県嘉島町社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの運営支援に当たりました。

社協では、平時からの生活支援活動や要援護者ニーズの把握、ボランティア・コーディネート業務に関する経験等があることを踏まえて、有事の際には、災害ボランティアセンターの運営を行うことが期待されています。



去る平成28年4月14日、16日と過去に例を見ない震度7の地震に2度見舞われた熊本地震により嘉島町社協においても、5月1日から災害ボランティアアセンタール立ち上げ被災者の支援に当たられていました。

資機材の貸し出し風景



嘉島町内では、最大で震度6強を記録し、人的被害として死者3名。物的被害として、全壊175棟、大規模半壊31棟、半壊94棟（5月1日時点）と大きな被害に遭われています。

嘉島町社協では、平時時から要援護者情報の把握に努めておられて、センターでも要援護者（世帯）に対する支援を中心に、がれきの撤去などの業務に当たられていました。

今回の運営支援を通じて、近い将来発生が予想されている南海トラフ地震に備えて、本会としても災害ボランティアでの被災者支援などのあり方や備えについて、検討していく必要を強く感じました。

最後となりましたが、この度の熊本地震によつて亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに被災された皆様を一日

建設中の仮設住宅



ボランティアセンターでの団体ボランティアに対するニーズの説明



地震によって被害を受けた家屋・電柱



も早い生活再建・復興を願っております。

熊本地震に伴う 嘉島町災害ボランティアセンター
ブロック派遣（報告） 至平成28・5・16～5・21
地域福祉係 黒江 雄一

傾聴ボランティア養成講座

相手の心の思いに耳を傾けて、共感できる聴き上手を養成する「傾聴」を習得してみませんか。また、その技術をボランティア・市民活動の中で活用する方法を考えます。

1回 9月 6日(火) 3回 10月 3日(月)
2回 9月27日(火) 4回 10月18日(火)
(13:30~15:30 ※内容によって時間が変更します。)

※講座終了後には卒業施設実習を予定しています。
※受講料は無料です。お気軽にご連絡ください。

地域福祉係 ☎ 23-0313
☎ 23-0295

要約筆記奉仕員養成講座

要約筆記は、聴覚の不自由な方に書いて伝える筆記通訳です。聞こえない言葉が目に見える言葉になります。手紙や日記を書くのが好きな方、学んでみませんか。

原則毎週土曜日

全10回 13時15分~15時15分

9月 3日~11月 5日

※受講料は無料です。お気軽にご連絡ください。

地域福祉係 ☎ 23-0313
☎ 23-0295

ウォーキングボランティア

に参加して

「視覚障がい者 亀井氏

佐田岬ウォーク46キロに挑戦!!」

(報告者) 地域福祉係 松本 雄一

5月21日(土)、愛媛新聞社主催「佐田岬ふるさとウォーク2016」が八幡浜市・伊方町間で開催され、亀井慎太郎氏(視覚障がい者)のウォーキングボランティアとして参加してきました。

亀井氏は大会初参加でありながら最長の46・5キロコースにエントリーされ、踏破することを目標に体育館等でトレーニングを続けて来られました。

当日は快晴の中、海風を感じて八幡浜市役所前をスタートしました。途中、地元の方の声援やお接待を受け、さら



館やしらすパークを通過して、約10時間かけて佐田岬はなはなゴールすることができました。その時、万歩計

は6万2千歩を記録していました。46・5キロを踏破した時、運営スタッフと一緒に歩いた参加者のみなさんから

「お疲れ様でした。おめでとうございませう」等多くの言葉を送り、亀井氏とともに満足感・達成感でいっぱいでした。

☆ボランティアを感じること・

「ボランティアを感じること・

亀井氏は、この大会に来年も挑戦したいと希望されています。長距離であるため、チームボランティアとして、3人程度が順番に交替しながら障がい者サポートができれば良いと思います。

ウォーキングボランティアに限らず、皆様の協力の輪を広げていくことで、地域の福祉は良くなります。誰かのためにできる★ボランティア大募集です!!

大洲社会福祉協議会

地域福祉係

☎ 23-0313
☎ 23-0295



心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(7月5日と7月19日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時~午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長 浜 支 所	7月22日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時~午後4時
肱 川 支 所	7月 5日(火) 大洲市肱川公民館 午後1時30分~午後4時30分
河 辺 支 所	7月 8日(金) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時~正午
問い合わせ先 本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	